

企業の環境への取り組みについて高校生が感じたこと

平成 30 年 11 月 1 日

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 (NACS)

消費者教育委員会 環境グループ

環境学習の一貫として、NACS による環境授業(「ファッションの裏側を知っていますか?」)に続き、様々な業種から10の企業・NPOの協力を得て、3時間目、4時間目に企業等の環境への取り組みの授業を行いました。生徒は希望の企業等の授業を受講しています。本報告書は、企業等の環境への取り組みを紹介する環境授業を実施した後に行ったアンケートから高校生が感じたことを企業別にまとめました。

アンケート実施概要

調査日:平成30年10月9日

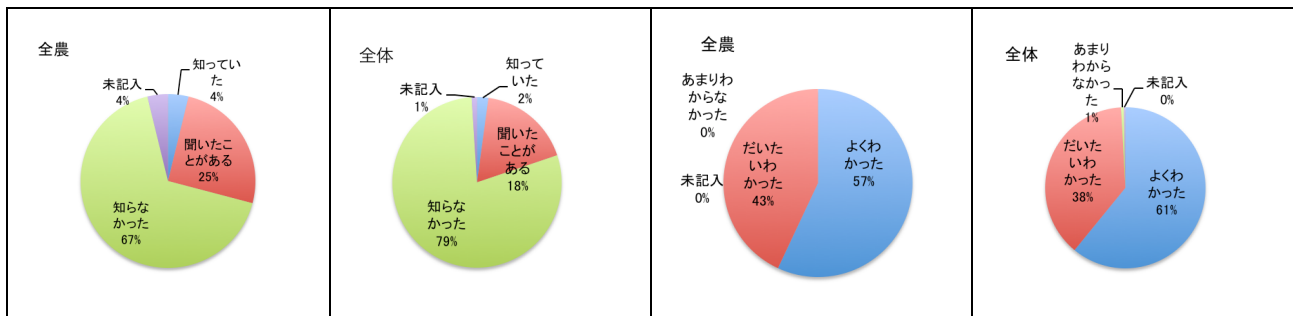
調査対象:神奈川県立海老名高等学校 1年混合クラス 全79名 回収率 100%

協力企業:株式会社全農ビジネスサポート

Q1. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について知っていましたか?

Q2. 授業の内容はわかりましたか?

企業等別 (n=79)、全体 (n=691)



Q2で答えた理由を聞かせて下さい。

<よくわかった、だいたいわかった>

イラストがたくさんあったから。
グループでの話し合いがとても面白かったです。
パンフレットなどがあったため詳しくわかった。田んぼについて深く考えることができた。
絵とか表を使った説明だったからわかりやすかった。
資料をつかいわかりやすかったです。
耕作放棄地面積が広がっていることが分かった。放棄地を減らすために、パンよりたくさんお米を食べて、必要な稲の数を増やして、田んぼを活用すれば良いと思った。
グループワークやタペストリーなど、文字だけでなく絵などで頭に入りやすかった。
図や絵や冊子を使って説明してくださったので。話し合いで。
話してくれる方の話が分かりやすかった!
冊子を使って分かりやすい解説をしてくれた。班を作って話し合いの場を作ってくれたので、いろいろな意見を参考にでき、考えが深まった。

資料が分かりやすい。(パンフレット)
いろんな資料を使って農業の大切さや、今直面している問題についてくわしく知れたから。
農業についてたくさんを知ることができ、とても分かりやすかったから。
冊子が分かりやすかった。説明が分かりやすかった。
パンフレットをみて、班での話し合いの時間をくれたから。
話し合いが多く、理解を深めることができた。
話し合いが多く、取り組みについて考えることが多く理解が深まった。
図や冊子などで現状を分かりやすく学べたから。
農業と環境には深い関わりがあることが分かった。例えば、田んぼに住んでいる生物の生態系を調べたり守ろうとしていた。これは、今後の農業と環境に役立つことだと思ったからです。また、日本の農業は危機を迎えていて対策を考えることで農業を様々な面から考えられたから。
農作物をただ作って売るだけでなく、日本の環境などについても取り組まれていることがわかったから。
資料や図があったから。
田んぼがあることによってどんなメリットがあるかとかがよくわかったから。
全農が環境に対していろんなことをしていることがわかったから。
資料を見たり、グループ学習が多かったため。
資料を使って詳しく説明して下さり、農業の大切さについて学ぶことができたからです。
パンフレットを使いながら、進めてくださったから。
農業の大切さがしっかり説明されていたから。
田んぼが補う役割として、災害を防いだり、水を貯める面もあるのには大変驚いた。しかし放棄してしまっていることは日本全体としてもったいないことであり、またその土地自体ももったいないなと思った。
田んぼには様々な生物がいるということ、米を作るだけでなく、環境にもやさしいということがわかりました。
みんなで話し合いながら、冊子を見ながらできたのでわかりやすかった。他の班の色々な意見も聞けたので内容が入ってきやすかった。
前にある絵や、冊子が非常に見やすく、分かりやすかったから。
646JAある。JA:農業協同組合 田んぼの多面的機能。食料自給率の低下…(米が減り、肉が増えた) 耕作放棄地面積が増えている。
資料をよみながら話を聞いたり、大きな絵をみて納得できた。
絵などがあって分かりやすかった。自分たちで考えることで頭に残った。
参考資料が多かったから。
マップなどを使いわかりやすかった。
グループで意見交換することで、ずっと話を聞くよりも考えを深めることができたから。自分の考えより良い意見を聞くことができたから。
資料があり、グループで発表したから理解が深まった。
田んぼは米だけを作るだけではなく、虫のすみかや観光資源などたくさんの役割があることを知ったから。
田んぼの米を作る以外のはたらきについて、詳しく知ることができたから。
冊子などを使い分かりやすく説明していた。
知らないことをわかりやすく説明してくれた。
1つ1つが丁寧だった。グループワークで意見が出しやすかったのが理解を深められた。
日本の自給率の低さや耕作放棄地の増加など、知っていたから。

田んぼは米だけを食べさせるものだけではなく、雨水を貯めたりいろんな生きものとふれあうことができたりすることができることをしることができた。
農家が減っていることについて、理由があまりわからなかったが、その他は理解できた。
米の需要が減って田んぼ、それから生き物のすみかも減っている。多分農家の人も減っている。
自分たちで考える時間があった。
話し合い活動を通して、分かりやすい説明をきけたから。
もらった資料が分かりやすく、話を聞きながらだから、理解が深まった。
農業の多面的機能が自分でかんがえたときよりも多く、とても興味が湧いたから。
わかりやすく教えてくださり、班で楽しくまとめられたが、時々話が脱線しかけていたから。
環境と農業の接点などがわかり、別々に考えてはいけないのだと思ったから。
パンフレットがあって、絵も一緒にかいてあったから、内容が理解しやすかった。
私はまだまだ農業のことについては分かりませんが、子どもたちに生き物を知ってもらう等、様々な活動をされていることが分かりました。知ってもらうことで田んぼに対する関心が高まる方もいると思うので、とても良い活動だと思いました。様々なお話をありがとうございました。
全農は農業だけでなく、人の心や環境など日本の未来を支えている会社だと分かったから
良い点悪い点を区別して自分で判断したから。
自分達で考える時間もあって、より理解が深まった。
グループ学習で班の人と楽しく学べたから。
グループでいろんな意見があったから。
そんなに難しい言葉などを使わずに、田んぼという身近な話題だったから。
中々話し合いに参加できなかったけど、自分で聞きながら意見を考えたり、紙に書くことで理解できた。
田んぼの役割とか、米を食べるためにどうしたら良いか話し合えた。
7人で話し合いながら、授業を進められたから。
お米のことはよく分かったけど企業のことはあまり分からなかったから。
農業のことはよくわからなかったが、話し合いで時間をとって考えられた。
畑があるおかげで生物が沢山、種類もある。畑には沢山のメリットがあるが、大変である。
生物とご飯の量のファイルがとってもみやすかったから。タペストリーがあったことがとってもよかった。
JAや全農の名前は知っていたけど、何をするのかあまり知らなかったのが今日の授業で知ることができた。
しっかりと話し合いができた時と、できなかった時があった。
資料などを元にした授業だったから。
田んぼの多目的機能から田んぼが環境面でも地域的にも役割を果たしていることがわかったから。
農業についてすごい分かりやすく楽しく知れた。
「環境」というより「食料自給率」の話が多かったから。
自分たちに考えさせる授業だったから。
CMなどでJAが地域の農業にかかわっていることは知っていたのでなんとなく分かった。身近なことなので考えやすかった。
イラストなどがついている冊子を使っの説明があり、わかりやすかったから。またタペストリーを使った四季の移り変わりなどわかりやすかったからです。

<あまりわからなかった>

該当なし

Q3. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について感想などを自由に書いてください。

お米を食べたくなった。
田んぼが環境・地域・生き物など、様々なものに影響していて、それを守り、支える全農の活動は大切だと思った。
「田んぼの生き物調査」という企画をやっていたり、皆が環境について興味をもてるような取り組みをしているということが分かった。田んぼが思ったよりも様々な機能があるんだなと思った。
日本人として田んぼに対する関心を持つことは大切だし、環境にも良い事だと思う。
全農は農業のイメージしかなかったけど、スポーツのおうえんや、いろいろなことをやっていると知った。
環境SR活動「田んぼ生きもの調査」を全農では行っていることが分かりました。
耕作放棄地が富山県と同じだけあるときき驚いた。日本の米はおいしいということをみんながもっとわかればいいと思う。私の生まれるいらか前に、米が足りなくなりおいしくない外国産の米をたべたという話を母からきいたから、そういうように日本の米のありがたみを感じてほしい。もっと輸出すればいい。
特に考えることもなく食べていた米に対して色々な問題や田んぼの利点が知れてよかった。
1人1人が意見をいうことで様々な問題対策があると知れました。問題に対して企業がどのような取り組みをしているのかだけでなく利点も分かった。
グループワークが多くて、自分の意見が出しやすかった。農業について今までよりも理解が深まった。
元々自然環境に従事した企業なので環境への取り組みもいろいろな種類のものを行っていた。田んぼという1つの敷地が多面的機能をもっていることにおどろいた。
各地で「田んぼの生き物調査」を行っていることで、子どもたちの農業への関心も生まれ、新たな人手確保にもつながるだろうから良いなと思った！
農業ってただ食料を作るだけではなく生き物のすみかになっていたり、災害から守る役割もあったりしてすごいおもしろいなって思った。
田んぼはこめをつくるだけでなく、生き物も育つことができるということを知りました。農業をする人が減少しているんで、少しでも関わっていければいいなと思います。
お米をもっと食べるべきだと思いました。
耕作放棄地が年々増えていることにおどろきました。昔より外国料理が国内で増えていますが、もっと白米を食べて、自給率を上げていけるといいと思います。
今日の授業を通して、今現在どのような環境への取り組みを行っているのか、これからどのような取り組みをしていけばいいかを考えることができた。
耕作放棄地などの話を聞いて興味がでた。
農業の自給率や耕作放棄地の面積についての現状を知れて、ネットなどで全く情報を手に入れようともしなかったのでも少し暇な時にこの深刻な状況に耳を傾けようと思った。また、ごはんを少しずつ食べていって、自給率を上げようと思った。
これからの取り組みを知りたくなった。企業と消費者が協力して問題に取り組むべきだと思いました。色々な問題を教えてほしいと思いました。
もっと田んぼが増えるように活動が増えるといいなと思った。
自分のご飯をふりかえてみると、朝なんかとくにパンをたくさん食べていたり、めん類だったりするので、お米もたくさん食べたいなと思った。

全農が環境に対していろんなことをしていてすばらしいと思った。もっと知りたい。
消費者がたくさんお米を食べることによって、耕作放棄地を減らすことができると知り、これからも日本人として食べていきたいと思った。自分にもできることもあるのだなと感じた。
今回授業を受けて日本の食料自給率が下がっていることを知り、これからはパンなど小麦を使っているものよりも、ご飯などを食べようと思いました。
自然に近い企業なので、環境への取り組みがしっかりしていると思った。でも結局一人ひとりの意識が大切だと分かった。
食料は大切なので環境を大切にしようと思いました。
自分にもなにかできることはないかを考えてみたいと思えました。ありがとうございました！
田んぼには暑さをやわらげたり、空気をきれいにする効果もあるということがわかったので、学校の近くにある田んぼを楽しみたいと思います。
お米を自分ではよく食べているつもりだったけど、昔の人の1/2くらいしか食べていなくてすごくおどろいた。海老名は田んぼがたくさんあるから、もっと関わりをもっていきたいと思った。
どんどん機械化や欧米化が進んで米ばなれが進んでしまっていると感じました。田んぼを見ると心がやすらぐので自分が大人になっても田んぼが残ってたらいいなと思いました。
ひとつ田んぼという例を挙げただけでも、様々に環境につながっていた。そう考えると何にでも環境保護につながるのではと思った。農家になろう…。
農業についてよく分かった。私のおじいさんも畑を持っているので、もっと話をききたいと思います。
田んぼの必要性についてよく理解することができた。これからの農業について考えなければならないことが分かった。
農業の現状は聞いたことはあったが、実際に聞くと思ったよりも大変でおどろいた。
田んぼは大切。意見交換などを行い理解が深まった。
農業も環境への取り組みがあり、そのことについてグループで話し合い、より良い意見を出すことができた。
田んぼや畑があることによって人々に食べ物を与えるだけでなく、環境にもやさしいということにおどろいた。家の周りに畑が多くあるから、四季を楽しんでみようと思う。
グループで話し合うと色々な意見が出て、農業についての問題に対して面白い解決策があったからそれが実現できるようになったら日本の食料自給率もかわると思う！
今の農業の現状をきいて、もっと若い人たちが農業に興味や関心を持つべきだと思いました。また、この授業で、自分以外の人の意見もたくさん聞いて、とてもいい経験になりました。
しっかりと考えられていて良かった。
米をたくさん食べようと思った。
農業のことを改めて考えるきっかけになった。今までよりも食について考えようと思った。自分の考えが少し変わった。
もう学んでいたことだから、自分も将来農業に少しでも関わりたいと思った。
今回の授業を受けて環境への取り組みについてくわしく知ることができた。耕作放棄地面積をへらすように対策をなにかねるべきだと思いました。
お米を食べなくなってきたことを知って、朝ごはんなどにしっかり食べたいと思った。
食料自給率が低い日本で米も自給率が下がるので、ちょっとやばい。米を食べるのが一番良い！！
農業だけではなく、スポーツの支援とかもやっていると知りました。
・SR活動 ・田んぼの生きもの調査 ・『この授業』
自分の地域で結構身近な内容だったけど、より理解が深まって、興味を持てた。

<p>もっとお米を食べようと思った。高齢化が進んで、若い人が農業をやっていないで食料自給率が下がっているのは知っていたけど、耕作放棄地があることは知らなかった。</p>
<p>耕作放棄地が増えたり、自給率が下がっていることを知ったので、農業にたずさわることは難しいけれど、食べ物を買うとき、国産のものを選ぶようにしたいと思いました。</p>
<p>いつもなにげに食べている米の耕地面積が年々減ってきてしまっていることはとても驚きました。しかし、その対策は難しいように見えて、1回の食事で一口米を食べる量を増やせば食料自給率が1%増え、米の消費量も増えると思うので、そうして耕地面積の減少を止められたらいいなと思いました。</p>
<p>1日3食食べることで、ごはんが作られるようになるので、朝ごはんもしっかり食べようと思いました。</p>
<p>耕作放棄地が増えていることは授業でも習っていて、そのたびにどうすればいいかとか意見をだしていたけど、それを実現させるのが難しいんだと思った。</p>
<p>田んぼがあることで、ここまで大きな生態系ができていたことを知りませんでした。また自給率など、今は様々な問題をかかえていることがよくわかりました、お話ありがとうございました！</p>
<p>自分の食卓を振り返ると、朝はパンだったことが多いので、米を食べて環境に少しでも役にたつようにしようと思った。</p>
<p>全農は農業のことにのみに取り組んでいると思っていたけれど、さらに生き物のことや、その他スポーツ等にもかかわっているということをはじめて知り、おどろきました。</p>
<p>パンよりもお米を食べて、お米の消費量を増やそうと思った。田んぼがこれ以上減少しないためには何ができるかをちょっと考えてみる。</p>
<p>今、日本の農業がピンチを迎えているから自分達ができることを頑張ってみよう。</p>
<p>日本の農業がピンチで食生活を見直そうと思った。</p>
<p>日本の未来についてちゃんと考えているなと思いました。</p>
<p>バランスの良い食事や、地産地消、旬の食べ物への理解や主食をきちんと摂ることを学べました。私はあまり白米を食べないので、これからは考えたいと思いました。生産者への感謝も忘れずにいたいです。</p>
<p>米とか食べるのもそういうのにつながるのかなと思った。普段考えない事を考える機会ができたので良かったと思う。</p>
<p>田んぼはお米だけのためにあるわけではなくて、たくさんの役割をもっていてとても大切だと感じました。</p>
<p>お米を食べないと環境にどういった影響を与えるのかというのが分かって良かった。</p>
<p>田んぼの大切さに気づかせる。SR活動などは小さいころに体験しておきたかった。</p>
<p>放棄されている畑(耕作放棄地)は、富山県の大きさ位あるのを、減らそうとしているのは、すごいと思う。私たちができることもあるから、簡単なことがあったらやってみよう。→高齢者が少ない。</p>
<p>自分はパンの方がどっちかというと好きだけど、たくさん工夫してご飯をたくさん食べようと思った。虫とか自然とも、たくさん関わられたらいいなと思いました。</p>
<p>農業を通じて、日本や自然を豊かにしようとしているということがわかった。</p>
<p>いつもとは違う目線で環境に関して考えるのはおもしろかった。人によって色々な目線があって、どれか1つが正しいわけではないとわかった。</p>
<p>日本の食料自給率がすごく低いことに驚いた。</p>
<p>農業について、興味がわき、今の現状がわかった。</p>
<p>農業についてあまり知らなかったが知ることができて興味が持てたしよかった。</p>
<p>田んぼの生き物調査について知ることができました。また、食料自給率や耕作放棄地についても理解できました。</p>

参加型の授業で集中して取り組めた。田んぼを有効に使用したり、自分から米を意識的に食べるようにしていきたいと思った。もっと農業、自然に興味をもちたい。

田んぼは人の食料のためだけではなくて、生物がすめるような環境があるのはステキだと思いました。

田んぼなどの多面的機能を初めて知れたのでよかったです。また、農業の現状など、わかっけていても意外とわかっていなかったんだなと思いました。

以上